



Japan Flower Selections PRESS

Potted Flower Division 2023 Spring

ジャパンフラワーセレクション

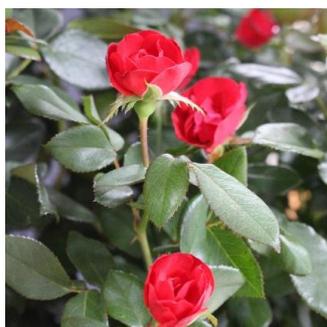
鉢物部門 2023 春審査会

@大田市場

入賞・特別賞受賞品種のご紹介

鉢物部門

Spring



春の鉢物部門の入賞・特別賞が決定しました。



ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内

TEL : 03-3664-8739
FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp

<http://www.if-selections.net/>



Japan Flower Selections Potted Flower Division

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション (JFS)」の鉢物部門では、このたび東京都大田区の大田市場花き部内株式会社フラワーオークションジャパンにて春の審査会を実施いたしました。

今回の審査で入賞した品種の中から、総合的に優秀な品種に与えられるベスト・フラワー（優秀賞）並びに新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定いたしました。ベスト・フラワー（優秀賞）は、この年の最優秀賞である「フラワー・オブ・ザ・イヤー」の候補となります。

審査会の様子



審査会実施概要

■ 春審査会： 2023年5月19日

■ 審査・展示会場： 大田市場花き部内 (株)フラワーオークションジャパン

審査員(鉢物部門)

国内の花き業界を代表する学識経験者、販売店、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

平田 隆明 Takaaki Hirata

(株)フラワーオークションジャパン
常務取締役

岡部 幸一 Kouichi Okabe

(株)大田花き
営業本部 第二グループ
グループリーダー

尾崎 明弘 Akihiro Ozaki

(株)オザキフラワーパーク
代表取締役

香取 邦枝 Kunie Katori

第一園芸(株)
商品販売事業本部
商品販売事業部 部長

小池安比古 Yasuhiko Koike

東京農業大学 農学部 農学科
教授

向原 潤 Jun Mukouhara

(株)ディノス・セシール
フラワーネット本部
フラワーネット事業部
EC/事業推進ユニットチーフ

【ご報告】 2023年度のPR展示へのご協力ありがとうございました。

2023年1月27日（金）～29日（日）に第71回関東東海花の展覧会が池袋サンシャインシティ文化会館無事開催されました。ジャパンフラワーセレクションのPR展示コーナーには、約70品種の受賞品種をご協力いただきました。お忙しい中、ご出品いただき、誠にありがとうございました。御礼申し上げます。



ガーデニング部門の2023年度出品の定植を開始しています。

2022年度に露地花壇をリニューアルしました。夏秋からの植え込み品種を募集しています。

■栽培観察・審査場所：千葉大学環境健康フィールド科学センター

◆ガーデニング部門出品募集中！

定植時期や、観察希望期間、出品料について詳しくはご相談ください。
2023年審査の定植を開始しております。2023年度のガーデニング部門へご出品をご検討中の方は、早めにご相談ください。

出品に関するお問い合わせは
jfpc@jfpc.or.jp へ！

■出品料：1品種1期（1～3か月）30,000円（税込33,000円）

ただし、（一財）日本花普及センターの賛助会員のうち団体会員A（都道府県、各種団体、企業、協同組合）の方は1品種1期 20,000円（税込22,000円）の特別価格が適用されます。（休会中の会員については適用されません）

例）4月～9月までの観察を希望される場合は、30,000円×2期＝60,000円（税込66,000円）の出品料となります。

特別価格の適用の場合は、20,000円×2期＝40,000円（税込44,000円）となります。

3か月の観察後の延長観察のご希望は、1か月単位で承ることができるようになりました。追加の出品料は1品種1か月10,000円（税込11,000円）となります。

特別価格の適用の場合は、7,000円（税込7,700円）となります。

JFS審査圃場の様子



ベスト・フラワー(優秀賞)、フォトジェニック特別賞

アジサイ

YULIKA

(有)さかもと園芸



受賞者：(有)さかもと園芸 (群馬県)

育成者：ピムマ ティアムチャイ

育成者権者：ピムマ ティアムチャイ

ホームページ：sakamotoengei.com

審査講評： 遠目にも人目を惹く発色のよい覆輪の八重咲きガクアジサイ。とくに赤系は白色とのコントラストが美しく、写真映えもし非常に印象的。花形も独創的で今までの品種にはない面白みがあり、ギフトにも向くだろう。翌年も赤系の色目が出やすい。花芽がつきやすく庭植えも可能。やや葉のヨレや傷みが気になった。少しコンパクトな仕立てにすると、株がバランスよくなりそう。

ベスト・フラワー(優秀賞)とフォトジェニック特別賞を受賞を同時受賞。人気投票第2位。

ベスト・フラワー(優秀賞)、ブリーディング特別賞、モニター特別賞(春)

アジサイ

月うさぎ

島根県



受賞者：島根県 (島根県)

育成者：女鹿田博之 加古哲也 稲村博子 清水由佳

育成者権者：島根県

ホームページ：<https://www.pref.shimane.lg.jp/top.h>

審査講評： ふっくらと盛り上がる花房は存在感とインパクトがあり、人目を惹く。立ち上がる両性花と周囲の八重咲きの小花と、2種類の花形が楽しめるのも独創的。艶のある緑葉と白花のコントラストがさわやか。草姿もすぐれている。ギフトとしてもホームユースとしてもおすすめできるので、ピンク系もぜひ期待したい。花後に切り戻すと4~6割は秋に返り咲くという点も興味深く、この品種の花後の手入れについての説明が消費者へうまくできれば、新しい楽しみ方ができ、より良いだろう。ベスト・フラワー(優秀賞)、ブリーディング特別賞を受賞。人気投票では1位となり、モニター特別賞(春)も同時受賞。

ジャパンデザイン特別賞

マーガレット

京都恋物語

シミズナーセリー



受賞者： シミズナーセリー

(京都府)

育成者： シミズナーセリー

審査講評： コロンとした丸い花形がかわいい八重咲き小輪のマーガレット。花色が移り変わり、低温期は赤色が濃く、気温の上昇とともに白色の割合がふえる。

ひと鉢のなかでグラデーションが楽しめる点は評価できる。花もちがよく多花性で、ピンチしなくても自然と丸く整うエアリーな株姿。シルバーブルー系の葉色が淡めの花色を引き立てる。寄せ植えやガーデニング素材としても期待する。

品種名のように和の雰囲気にも似合いそう。ジャパンデザイン特別賞受賞。



ニューバリュー特別賞

ヘデラ

森の妖精

永尾園芸



受賞者： 永尾園芸

(福岡県)

育成者： 永尾寿夫

審査講評： 小ぶりの葉が4月中旬から白斑が鮮明になり、高温期にはグリーンに戻るというヘデラ。秋に再び白斑が現れたのちに紅葉し、冬はグリーンに戻るという従来の変化の仕方とは違う点が興味深い。斑の入り方は美しい。

販売時に季節ごとの葉色の写真を参考資料に添えると説得力が上がるだろう。

斑の入り方、色の変化に対する需要がどれくらいあるのか、現時点では未知数だが、特徴を上手にアピールしたい。ニューバリュー特別賞を受賞。



モーストジョイ特別賞

アジサイ

Ange Noir (アンジュ ノワール)

久保田花園



受賞者：久保田花園 (群馬県)

育成者：久保田哲也

育成者権者：久保田哲也

ホームページ：<https://www.is-flower.com>

審査講評：ダークカラーの艶葉とピンクの花の組み合わせが魅力的。比較的早咲きで、ライトグリーンに濃ピンク系の縁どりから透明感のあるピンクへと咲き進む色の变化は楽しい。花は密に着きボリューム感があるので、ギフトとして存在感はたっぷり。

品種名のように、葉色がさらに黒っぽさが強ければ、メリハリが出て花のかわいらしさがより引き立つだろう。

モーストジョイ特別賞受賞、人気投票第4位。

ニュースタイル特別賞

アジサイ

Bonita(ボニータ)

久保田花園



受賞者：久保田花園 (群馬県)

育成者：久保田哲也

育成者権者：久保田哲也

ホームページ：<https://www.is-flower.com>

審査講評：小鉢(4号)向けに特化し、今までにないプチゴージャスを目指して育種された八重咲き品種のアジサイ。寄せ植えなどにも利用できそう。

アジサイについて「もう少し小さい鉢だったら欲しい」という消費者の声もあるので、このタイプの需要もあるだろうという意見もあった。バランスのよい出来栄は評価できる。コンパクトタイプでの販売で花のサイズが大きめだと大味に見えてしまいがちなので、花自体がもう少し小さく(細か)いほうがアジサイらしさが際立つかもしれない。

改良の余地もあるが、新しいスタイルとして期待したい。ニュースタイル特別賞受賞、人気投票はアンジュノワールと同票で第4位。

ライフデザイン特別賞

アジサイ

ポーシブーケ エリー

(有) さかもと園芸



受賞者：(有) さかもと園芸 (群馬県)

育成者：ピムマ ティアムチャイ

育成者権者：ピムマ ティアムチャイ

ホームページ：sakamotoengei.com

審査講評： 八重咲きのかわいらしいテマリ形アジサイ。色濃く咲き始め、ピンクやブルーのグラデーションで咲き進むさまが美しい。マットな花色は洒落ている。とくにブルーはすっきりとした色目が好印象。

形よい花房はボリュームも十分で花つきもよい。株姿も美しく、万人に受け入れられる品種だろう。花芽が付きやすく揃いがよい。ライフデザイン特別賞受賞。人気投票では第3位。

グッドパフォーマンス特別賞

バラ

Zepeti (ゼプティ)

(株) エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株) エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

育成者：Meilland

育成者権者：京成バラ園芸(株)

ホームページ：https://www.mbflora.co.jp/

審査講評： 耐暑性、耐寒性にすぐれ、暖地では冬でも常緑を保つ。分枝性、連続開花性にすぐれ、まとまった株姿。耐病性も期待でき、多用途で楽しめるバラ。春から晩秋まで楽しめ、1輪の開花期間が20日間と長く、花が散りにくいため手入れが楽。鮮赤色の花色はよいが先端が黒くなるのがやや気になり、鉢物のバラとしての華やかさも欲しいところ。また、耐陰性をテストし、ギフト対応できるかも検討して欲しい。グッドパフォーマンス特別賞受賞。

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。各審査会での「ベスト・フラワー（優秀賞）」（10点満点の8.0点以上）から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会で決定します。

2. ベスト・フラワー（優秀賞）

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種（10点満点の7.0点以上）の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

モーストジョイ特別賞

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されます。

ニューバリュー特別賞

花の新たな価値観を持たせる品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワー・ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

ニュースタイル特別賞

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

フレグランス特別賞

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

ブリーディング特別賞

新たな価値観や形質を生み出し、育種コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

カラークリエイティブ特別賞

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

グッドパフォーマンス特別賞

（切花部門・鉢物部門）
これまでに比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱いやすく、育てやすい品種に授与されます。

ジャパニデザイン特別賞

日本らしさをもち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

フォトジェニック特別賞

写真を活用した情報発信やコミュニケーションをしたくなるような写真映えの良さを持つ品種に授与されます。

コンテナパフォーマンス特別賞

ガーデンパフォーマンス特別賞
（ガーデニング部門）

コンテナとガーデンの両方のパフォーマンスに優れている場合は、「コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞」と表記します。

モニター特別賞

（切花部門・鉢物部門）
春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。

ライフデザイン特別賞

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあって日々の生活を楽しみやすく、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1～3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。（マークの使用期限はありません）ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。





ご存知ですか？このマーク。
「いい花の新基準」。
ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。

*入賞品種は認定登録をすることで販売やPRにこのマークをご利用いただくことができます。



<http://www.jf-selections.net/>